



「地域の子 声かけ合って 見守って」

流山市教育委員会生涯学習部生涯学習課
青少年指導センター
〒270-0153 流山市中 110 番地
流山市生涯学習センター内
TEL 04-7159-5400 FAX 04-7159-9887

「一宮学園」での視察研修実施！ 補導員としての資質向上を目指して日々研修を行っています。

流山市青少年指導センター補導員連絡協議会は、1年に一回視察研修を行っています。視察研修では、子どもに関わる様々な施設等を訪れて、施設を見学したり、お話を聴かせて頂いたり、子どもの姿を見たりしながら、子ども達の現状を理解し、補導員としての資質向上を目的に行っています。今年度は千葉県長生郡にある「一宮学園」（児童養護施設）に行ってきました。

「一宮学園」は、関東大震災の被害を受けた児童の擁護を目的としたことが始まりで、非常に歴史のある施設です。建物も当時の面影を残し歴史を感じました。また県内最大の規模ということで、現在104名の子どもが生活しているという事でした。児童養護施設とは、様々な理由によって保護者がいなかったり、保護者の適切な養育を受けられなかったりする子ども達を、親に代わって養育していく施設ですが、現在施設に入所している子ども達は、親からの虐待を受けたものがほとんどだということです。

今回の研修では施設見学よりも、是非話を聴いてもらいたい、という副施設長の山口様の提案で、講義の時間を多くとって行われました。山口様からはじめに、対象理解ということで、身勝手な大人の事情から離婚・再婚の繰り返による分離体験や自分を守ってくれるはずの親からの虐待、そしてある日突然住み慣れた環境から離れて施設への入所、新しい場所での生活など、施設に来ざるを得なかった子ども達の背景について話がありました。その後、虐待を受けた子ども達の心理、そして背景へのアプローチ（問題行動）について詳しく話をしてもらいました。「問題行動に目を向けるのではなく、その子が受けてきた不当な扱いに目を向け、そこへの手当てが必要」と訴える山口様の話に参加した方々は皆、真剣なまなざしで聞き入っていました。

「児童養護施設」という名前は知っていましたが、今回実際に施設に赴き話を聴いて、その現状を知ることができたことは非常に貴重な時間となりました。参加された補導員からは「子どもに寄り添う施設の方の姿勢、温かい雰囲気に関心された」「今回の話を日々の子育てに役立てたい」「日頃の声かけに今までと違う心を込められそうです」など多くのことが心に残り、今後の活動に向けてさらに気持ちが高まったようでした。多くの方が参加して頂き、ありがとうございました。

県下一斉広域列車パトロール実施

10月24日（木）～30日（水）にかけて県下一斉広域列車パトロールを行いました。普段は自分たちの住んでいる地域を中心にパトロールをしていますが、今回のパトロールでは列車の中や、駅の構内、さらには市外など普段はあまり行かない場所でパトロールを行いました。安心して過ごせる地域づくりのため、補導員の方たちが多くの中高生に声をかけている姿が印象的でした。



令和 元 年 10 月の補導活動の状況(統計資料)

(1)補導活動実施回数・補導従事者数等

単位:回、人

実施区分	補導活動実施回数					補導従事者数					センター職員	総計
	街頭パト	支部パト	納涼祭パト	特別パト	合計	補導員・PTA・教員・職員						
						街頭パト	支部パト	納涼祭パト	合計			
時間帯	午前	7	0	0	5	12	21	0	0	21	17	38
	午後	6	0	0	5	11	19	0	0	19	16	35
	薄暮	5	0	0	0	5	13	0	0	13	5	18
	夜間	5	1	0	0	6	18	2	0	20	5	25
合計	23	1	0	10	34	71	2	0	73	43	116	

※街頭パトは、職員・補導員・教員によるパトロール。支部パトは、補導員のみパトロール。

※特別パトは、職員のみで状況に応じて行うパトロール。

※納涼祭パトは、職員・補導員・教員・PTAによるパトロール。⇒納涼祭パトロールの数は、参加者合計人数(センター職員も含む)

※納涼祭パトロールは、6.7.8月に実施。

(2)10月の補導件数(行為・対象者別)

単位:件

対象者別 行為別	学 職 別 対 象 者															
	児 童 ・ 生 徒 ・ 学 生								有職者		無職者		合計			
	小学校		中学校		高校		専門校		大学		有職者		無職者		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
行 犯 ・ 不 良 行 為	喫煙・飲酒													0	0	
	怠学													0	0	
	不良交友・不純異性交遊													0	0	
	夜遊び													0	0	
	危険行為													0	0	
	不健全娯楽													0	0	
	自 転 車	自転車二人乗り					2								0	2
		自転車無灯火													0	0
		自転車並列走行													0	0
		自転車右側走行													0	0
自転車携帯・イヤホン						3								0	3	
その他													0	0		
刑罰法令に触れる													0	0		
男 女 計	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合 計	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0

※夜遊び・・・夜間パトロール・納涼祭等パトロールにおいて、正当な理由なく外で遊んでいる青少年への声かけ。

令和元年度 青少年指導センターに寄せられた情報【 10月 】

《センターへ寄せられた情報(10月 計3件)》
つきまとい(1件) 脅迫・暴行(1件) 痴漢(1件)

コモンセンスペアレンティング

アメリカネブラスカ州の児童施設が開発した子どもへの援助技術。90年間ケアワーカーと子ども達との友好な関係構築、子どもの社会自立の成功を視点にした研究の結果、現在のスタイルが確立されています。この技術は全米をはじめ、欧州、アジアの子ども達へも多く採用され、効果を上げています。コモンセンスペアレンティングの大きな特徴の一つは、子どもの問題行動を予防すること(予防的教育法)にあります。大人が子どもに行って欲しいことを具体的に話して練習し、その行動が見られたら具体的に誉めるといった行為を繰り返すことで大人と子どもの信頼関係が出来、子ども自身が適切な社会スキルを多く身につけて社会で成功する可能性を高めます。

【相談電話専用】 04-7158-7830 もしくは 04-7158-7833
※ 月～金曜日、第3土曜日 9:30 ～ 16:30 (第3水曜日を除く)